

## 地对協コーナー

新年おめでとうございます。

昨年を振り返りますと、やはり改元に伴う一連の祝賀ムードが思い起こされますが、一方で、台風災害を始めとしたさまざまな自然災害の発生増や、出生数が90万人を下回り少子化の加速が報じられるなど、これからの時代において対策を講ずるべき課題も数多く見られた年でした。中でも、令和元年9月26日に厚生労働省から公表された地域医療構想に係る具体的対応方針の再検証対象医療機関の情報は、医療機関関係者はもとより地域住民にも衝撃的なもので、令和2年においては、各地域の実情に即した冷静な議論が更に進むことが求められるところです。

本協議会におきましても、医師確保対策や5疾病5事業に関する各種の施策検討に向けた調査・研究・協議など、各構成団体と連携を密に取りながら、求められる役割を果たしてまいりたいと考えております。

さて、今号は、11月に開催された各委員会・WGの報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。

また、過去の委員会活動などは、地对協ホームページ(<http://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○予防接種・感染症危機管理対策専門委員会 予防接種WG

日時：令和元年11月6日(水)19時30分

場所：広島県医師会館4階 401会議室

WG長：渡邊 弘司

本ワーキンググループでは、定期予防接種の接種率向上を目指すことを目的に、県内共通の算定式を用い、平成28年度より市町別接種率などについて調査を実施している。

定期予防接種率の算定方法が市町間で統一されていない現状を鑑み、平成27年度に統一の算定式を作成した経緯を説明し、本算定式を用い調査した、平成30年度の市町別接種率(DT2期、MR)について確認した。

#### 報告・協議事項

#### 令和元年度実施 平成30年度 広島県定期予防接種接種率調査結果について

このたび実施した、平成30年度の市町別接種率および接種勧奨方法などの調査結果について確認した。今年度は、DT2期とMRワクチンについて接種率調査を行い、平成29年度の接種率と比較しながら意見交換を行った。

委員からは、平成29年度と同調査結果と比較し、DT2期の接種率があまり向上していないことが指摘され、接種対象が11歳という年齢では小児科受診の機会も減少することも踏まえ、学校などで情報提供を行うことも検討する必要があるのではないかという意見があった。MRワクチンについては全体で接種率が95%を越えてい

ることは評価されたが、市町間での接種率にばらつきもあることから接種率の高い市の取り組みについて質問があった。当該市に所属する委員からは、行政が100%を目指すとしてはがきによる接種勧奨に取り組んでいる結果であるとの紹介があった一方、DT2期については特段の取り組みが行われておらず県内の平均を下回っていることも取り上げられた。このことから行政にすべての予防接種が大切であると認識してもらう必要性が指摘された。

また、各市町でさまざまな接種勧奨を行っているが、勧奨にかかる費用などについても意見があった。勧奨する対象者が増加すると費用も増加するのですべての市町に当てはまる対策は難しいが、接種率の高い市町の取り組みを参考にできれば良いのではないかとの意見があった。

また、今年度も、市郡地区医師会担当役員と市町行政担当者での連絡協議会を令和元年12月12日(木)に開催することとした。協議会では、本調査結果の説明や情報共有・意見交換のほか、接種率の高い市町の取り組みの報告などを行い、出席者の共通認識を図る予定。参考資料として日本医師会のワクチン納入状況報告システム、広島市におけるワクチン不足対策の取り組み、他市のHPVワクチン通知文について提示があった。

## ○第1回難病医療専門委員会

日 時：令和元年11月14日(木)19時00分  
場 所：広島県医師会館5階 501会議室  
委員長：丸山 博文

難病を早期に正しく診断ができる体制を確保し、診断後は身近な医療機関で適切な医療を受けることができる難病医療提供体制の構築に向け、5疾患群を対象に医療機関へのアンケート調査票について検討した。

**協議・報告事項**

## (1) 広島県における難病医療提供体制の検討について

広島県健康対策課よりこれまでの指定難病や難病医療提供体制の構築に至った経緯などについて報告があった。

広島県では、平成31年4月に難病診療連携拠点病院(1病院)、神経・筋疾患分野における分野別拠点病院(2病院)および協力病院(17病院)を指定している。

本県における新たな難病医療提供体制の構築にあたっては、神経・筋疾患分野外の分野別拠点病院および協力病院の整備と身近な医療機関で患者が安心して医療を受けることができるネットワークの構築が必要であり、本委員会において、難病医療提供体制の検討や拠点病院などの選定に向けた検討を行うこととした。

## (2) 医療機関アンケートについて

病院(242施設)に実施する難病医療提供体制に関するアンケート調査票について協議した。調査対象は15疾患群のうち比較的患者の多い「神経・筋疾患群」「免疫系疾患群」「血液系疾患群」「骨・関節系疾患群」「消化器系疾患群」の5疾患群を対象に行うこととした。内容については、診断・治療、在宅療養支援、研修会といった項目を設けており、神経・筋疾患群は一時入院、緊急入院の項目を追加し、免疫系疾患群については日本リウマチ学会リウマチ専門医数を問う項目を追加した。診断・治療件数は重症・軽症件数の回答を求め、依頼文書に加えることとした。

## (3) その他

難病対策センターが作成している難病相談室、小児難病相談室のご案内パンフレットやNews Letterをもとに難病対策センターの業務概要や平成30年度事業の実績について報告があった。

## ○がん対策専門委員会 第2回胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制検討WG

日 時：令和元年11月18日(月)19時30分  
場 所：広島県医師会館4階 401会議室  
WG長：茶山 一彰

本県における胃がん・肝細胞がん予防のサーベイランス体制として、広島県・広島大学・アッヴィ合同会社の三者協定に基づく検診事業を行うこととし、現在県内23市町にモデル事業の募集を行っていること、今後各モデル市町で検診を実施予定であることを確認した。

**協議・報告事項**

## 胃がん・肝細胞がんサーベイランス体制検討に係るモデル事業の実施について

胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制の構築に係る検診については、今年度第1回WG会議における意見交換の結果、学校での定期健診での実施は課題が多く困難であることから、市町検診での実施を視野に検討することとしている。

前回会議後の関係者調整の結果、市町検診の体制としては、広島県・広島大学・アッヴィ合同会社の三者が本年7月に締結した「県民の肝炎対策の推進に係る連携に関する協定」に基づき、まずはモデル事業として実施し、検証を重ねながら全県への普及を目指すことが広島県から報告された。

県内23市町には令和元年10月25日付けでモデル事業参加募集文書が送付されており、今後、参加希望の回答が得られた市町から、肝炎ウイルス検査受検率・陽性率・肝がん死亡率や医療アクセスが不利な立地などを考慮し、モデル事業に参加する3市町を選定予定である。また、受検対象者は、住民基本台帳から20歳以上の者に層化無作為抽出を行い、選定された者には案内文書(事業への協力説明と同意書)を送付する予定である。

具体的な検査手順としては、検査機関による出張検査として、全員対象に肝炎ウイルス検査・肝機能検査・血球算定検査を行うほか、希望者対象の検査としてヘリコバクター・ピロリ菌検査と腹部エコー検査を行った後、検査機関から結果を本人へ直接通知することとしており、肝炎ウイルス陽性者には県から陽性者の居住する市町へ情報提供し、市町から保健指導および受診勧奨(フォローアップ)を行う。また、ヘリコバクター・ピロリ菌陽性者には県から陽性者の居住する市町へ情報提供し、市町から除菌

治療について医療機関への受診勧奨を行う形が予定されている。なお、事業の実施に係る費用全般は協定を結んでいる三者で負担するが、陽性者への保健指導・受診勧奨に伴う旅費・業務費および人件費は市町が負担する。

モデル事業の効果評価として、肝細胞がんスクリーニングでは、事業実施結果(肝炎ウイルス検査受検率、肝炎ウイルス陽性率、医療機関への受診率、講演会開催による啓発効果)から、ウイルス性肝炎に起因する肝細胞がんのスクリーニングを目的とした住民対象の検診体制構築について検討・評価する。また、胃がんスクリーニングでは、事業実施結果(ピロリ菌検査陽性率、除菌治療の受診率、啓発資料の配付による啓発効果)から、胃がんとヘリコバク

ター・ピロリの感染に関する理解促進を図るとともに、ピロリ菌感染に起因する胃がんのスクリーニングを目的とした住民対象の検診体制の構築について検討・評価する。

委員からは、希望者に実施する腹部エコー検査について、腹部エコーの対象は肝臓も膵臓もあることから、「肝臓を中心とした腹部エコー検査」とすべきではないかとの意見があったほか、検診対象者のがん既往をあらかじめ把握するため腫瘍登録や全国がん登録の蓄積データと照合してはどうかとの提案もあったが、データ照合は個人情報保護の観点から難しいと思われた。

今後は、モデル市町における事業実施を進め、具体的な進展があり次第改めて報告予定である。

## 県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

### 【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.3」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス

### 【報告書】

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

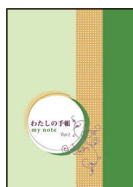
### 【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつづが虫病と日本紅斑熱について
- 海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マラリア
- 麻しんと風しん 大人も注意!
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生とともに…」

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaiky@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.7」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.3」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



広島県内のダニ類媒介感染症 つづが虫病・日本紅斑熱・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)



「海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マラリア」



麻しんと風しん 大人も注意!



医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル



ACPの手引 「豊かな人生とともに…」 など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協 検索

## 女性医師相談窓口

再就職、ワークライフバランス、産休、介護、子育てなど、どんなことでも気軽にご相談ください。回答の返送先(E-mailアドレス、FAX番号、電話番号、郵送の場合は住所)を明記して下記までFAXまたはE-mailでご連絡ください。

あて先：広島県医師会女性医師部会(学術課)  
TEL：082-568-1511 FAX：082-568-2112  
E-mail：gaku@hiroshima.med.or.jp